

【出題方針】

昨年度から■小問集合がなくなり、理科四分野から大問1つずつ（■1生物・■2化学・■3物理・■4地学）の構成になっています。出題傾向は例年と変わりません。四分野からバランス良く、小学校で習う内容をもとに出題します。覚えた単語を次々と書けるような「暗記力」だけを問うのではなく、与えられた状況を読み解く「読解力」や、未知のことからの規則性を考える「思考力」を問う問題です。

【問題構成とアドバイス】

1 生物分野

「動物」「植物」「生態系」から出題します。「動物」からは発生・消化と吸収・呼吸を、「植物」からは発芽・光合成・呼吸を、「生態系」からは動植物のつながり（食物連鎖など）を出題します。

2 化学分野

身の回りのもの（固体・液体・気体）の性質と変化から出題します。おこなった実験に対して、どのような結果が得られるか（作図やグラフなど）。また、行った実験の結果から、どのような法則が見られるか考察する力を求めています。

3 物理分野

「力」「電気」「光と音の性質と法則」から出題します。「物にかかる力」からはてこ・ふりこ・浮力を、「電気」からは電流回路・電流により生じる熱を、「光と音」からは光の明るさや進み方・音の伝わり方を出題します。

4 地学分野

「大地」「気象」「宇宙」から出題します。「大地」からは大地の変化と地層を、「気象」からは日本の天気と気象を、「宇宙」からは地球に身近な天体（太陽・月・星座）を出題します。

【解答上の注意】

四分野とも、問題文をしっかりと読み内容を理解すれば、解答できる問題になっています。時間配分を考慮しながら、効率的に読み進めてください。